

会報

平成27年度精密工学会春季大会関連事業 「元気の出る新技術講演会－産学・産産連携への集い」報告

精密工学会では、一昨年度から産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。これは企業の皆様に精密工学分野の研究機関との共同研究や関連企業とのビジネス交流の機会を提供させていただくもので、本年度の春季大会でも初日の3月17日に東洋大学白山キャンパスで開催しました。

本年は、2部構成をとり、第1部では先端企業・技術紹介セッションを開催、第2部では、産学連携のための新技術シーズ講演会を開催しました。夜の部では、ものづくり関連企業との技術交流会（懇親会）を開催し、大学・公設研究所の研究者および参加企業の皆様との交流を行いました。講演会には84名、技術交流会には50名もの多くの皆様に参加していただき、盛況のうちに終了しました。

1. 午後1部 「賛助会員の会」先端企業・技術紹介セッション

本学会の賛助会員の会が企画する「先端企業・技術紹介セッション」を開催しました。賛助会員へのサービス向上の一環として本会技術賞を受賞された賛助会員企業（3社）の方々から先端技術の紹介をご講演してもらい、会員の皆様に賛助会員企業を良く知ってもらう機会として実施をさせていただきました。

冒頭に、「賛助会員の会」奥田哲司会長（株）ジェイテクト）のご挨拶をいただき、賛助会員相互の交流や産学連携、産産連携の良いきっかけとなりました。

本会技術賞を受賞された賛助会員企業（3社）の講演内容は以下の通りです。

- 砥粒の保持特性を大幅に向上させた多孔質エポキシ樹脂研磨パッドの開発
九重電気株式会社 望月隆弘 氏
- ポイントオートフォーカス式超精密全周三次元測定装置（MLP-2SP）の開発と実用化
三鷹光器株式会社 三浦勝弘 氏
- 低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用
黒崎播磨株式会社 菅原 潤 氏
(地独)岩手県工業技術センター 和合 健 氏



望月氏によるご講演



三浦氏によるご講演



菅原氏、和合氏によるご講演

2. 午後の第2部 「産学連携のための新技術シーズ講演会」

精密工学会の長江昭充会長（ヤマザキマザック（株））のご挨拶に引き続き、(独)科学技術振興機構の塩野圭介様より①(独)科学技術振興機構の産学連携事業についてご紹介いただき、今後予算はどのように展開されるのかわかりやすく説明してもらいました。続いて精密工学会専門委員会を代表し、②産業技術総合研究所の栗原一真様（MEMS 商業化技術専門委員会）よりナノ構造体による機能性光学デバイス開発、③東京工業大学の佐藤海二様（超精密位置決め専門委員会）より精密+ α の運動システム技術、④東京電機大学の村松 隆様（切削加工専門委員会）よりWhirling機構を応用したヘリカルブレード切削とディンプル加工、⑤日本大学の溝口知宏様（大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会）より大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術についてご講演いただきました。どのご講演もユニークな研究事例であり、大変興味深いお話でした。今後の発展が期待されます。



大学研究者によるシーズ講演（佐藤氏）



大学研究者によるシーズ講演（溝口氏）

4. 技術交流会

技術講演会終了後、8号館地下食堂に移動して講演者と参加者の技術交流会（懇親会）を行いました。参加者は50名でした。講演会場とは違った本音の意見交換と親睦が図られていました。

5. 最後に

学術講演会と並行した企画行事として、1日を通して多くの参加者を得て、産学・産産連携に向けた有益な情報交換イベントとすることができました。これを契機に多くの連携活動が生まれることを期待したいと思います。そして、今後もこの講演会をより活発なものとするべく企画を続けて参りたいと存じます。

最後に、本講演会に多大なるご支援とご協力を賜りました独立行政法人科学技術振興機構およびご多忙中のところ話題提供をいただいた皆様に御礼申し上げます。